

1. 神戸市環境事業基金の残高等

		金額 (単位:円)	備 考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	969,441,783	
	内訳	うち、国費相当額	200,000,000
		うち、地方負担相当額	769,441,783
		うち、負担附寄附金等	
②	基金運用益	169,000	
③	その他収入	13,660,330	
④	負担附寄附金等		
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	60,666,190	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	922,604,923	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	200,000,000
		うち、地方負担相当額	722,604,923
		うち、負担附寄附金等	

2. 保有割合

	次年度の基金類型	運用型	金額 (単位:円)	備 考
⑧	基金運用益 (次年度見込額)		169,000	
⑨	事業費 (次年度見込額)		5,400,000	
⑩	保有割合		0.031	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠□
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額) □
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	事業費			備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
		合計	一般財源等	基金充当額				
1	生物多様性保全の推進	4,373,870	4,139,680	234,190	基金充当額については、基金運用益(169,000)、市の独自積み立て分(65,190)を使用	15%	5,400,000	37,800,000
2	水素スマートシティ神戸構想の推進	60,432,000	0	60,432,000	基金充当額については、市の独自積み立て分を使用(国費及び基金運用益の充当なし)			
3		0						
4		0						
5		0						
6		0						
7		0						
8		0						
9		0						
10		0						
11		0						
12		0						
13		0						
14		0						
15		0						
合 計		64,805,870	4,139,680	60,666,190			5,400,000	37,800,000

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	【定性的目標】 生物が多様で、自然のめぐみが豊かなくらしと社会を目指し、神戸の豊かで身近にある自然環境を守り育て、生物多様性の保全を推進する。	
	【定量的目標】 ① 2027年度までに、市民の生物多様性の保全に関する意識の啓発、行動の喚起を進めるため出前授業、シンポジウム、観察会等に延べ5,000人の市民参加を目指す。 ② 2027年度までに、市と市民との協働による生物多様性の保全活動を推進するため、活動を行う延べ300団体に対して助成を行う。	
	成果実績	①545人、②59団体
	目 標 値	①5000人の市民参加、②300団体に対する助成
	達 成 度	15%

事業番号

令和2年度 事業報告書

事業名	生物多様性保全の推進	新規・継続区分	継続
事項名	生物多様性保全の推進	開始年度	平成30年度
担当部署	神戸市環境局環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【定性的目標】 生物が多様で、自然のめぐみが豊かなくらしと社会を目指し、神戸の豊かで身近にある自然環境を守り育て、生物多様性の保全を推進する。</p> <p>【定量的目標】</p> <p>① 2027年度までに、市民の生物多様性の保全に関する意識の啓発、行動の喚起を進めるため出前授業、シンポジウム、観察会等に延べ5,000人の市民参加を目指す。</p> <p>② 2027年度までに、市と市民との協働による生物多様性の保全活動を推進するため、活動を行う延べ300団体に対して助成を行う。</p>

2. 概要

<p>生物多様性保全に向けた実践活動への支援、及び生物多様性保全についての知識の普及・啓発を行い、生物が多様で、事前のめぐみが豊かなくらしと社会を目指し、神戸の豊かで身近にある自然環境を守り育て、生物多様性の保全を推進する。</p>
--

3. 根拠法令等

<p>神戸市生物多様性の保全に関する条例</p>

4. 実施内容等

<p>①生物多様性保全活動の助成 「外来生物種及び侵入警戒種の防除活動」、「希少種の保全活動」、「生態系の保全活動」、「生物多様性の普及啓発に関する活動」に取り組む団体に対して、その活動に係る経費の一部を助成する。(17団体、818千円)</p> <p>②「きせつの生き物さがしガイド」の作成及び学校教育と連携した出前授業 市内の小学3年生に「きせつの生き物さがしガイド」を配布する。また「きせつの生き物さがしガイド」を活用して小学校で出前授業を行う。(出前授業14校)</p> <p>③生物多様性シンポジウム 生物多様性保全活動に対する市民の理解を深め、保全活動への参加の促進を図るため、生物多様性シンポジウムを開催する。(WEBオンデマンド開催)</p> <p>④希少種等観察会 「生物多様性保全のシンボル拠点」であるキーナの森で希少種等の観察会を開催する。(観察会延べ参加人数16人)</p> <p>(進捗率)</p> <p>A.市民参加人数 : 545人 (H30:285人、R1:244人、R2:16人) / 5000人 = 10.9%</p> <p>B.助成団体 : 59団体 (H30:19団体、R1:23団体、R2:17団体) / 300団体 = 19.7%</p> <p>計 15% (= (A+B) ÷ 2) (小数第一位を四捨五入)</p>
